

# 11章 大分市の海外の姉妹・友好・交流促進都市

姉妹・友好都市関係を結ぶ海外の4都市を紹介します。

## 姉妹都市 ポルトガル共和国 アベイロ市



### ポルトガル共和国 アベイロ市

人口：約8万人(2011年国勢調査)

面積：199.7km<sup>2</sup>

姉妹都市提携日：1978(昭和53)年10月10日

位置：ポルトガルの首都リスボンの北方約250km

主な産業：卸売業、観光産業、石油化学工業、製鉄業

### アベイロ市の概要

アベイロ市は、ポルトガルの首都リスボンの北方約250kmに位置する大西洋に面した人口約8万人、面積は199km<sup>2</sup>の街です。気候が穏やかで、また海が入り江まで入り込み、運河となって四方に流れ込む地形から、ポルトガルのベニスと呼ばれており、観光地として世界各国から観光客が訪れています。歴史ある町で、郊外には中世の城や修道院の遺跡といった文化的遺産も数多く残っています。産業は、卸売業や観光産業が中心で、石油化学工業や製鉄業も盛んです。また、重要な漁港もあり、塩の生産地としても有名です。

2015(平成27)年7月には本市の中学生サッカー訪問団がアベイロ市を訪問し、交流試合やホームステイを通じた青少年交流が行われました。



大分市中学生サッカー選抜チームアベイロ市派遣

## 友好都市 中華人民共和国 武漢市



中華人民共和国 湖北省 武漢市

人口：約1,022万人

面積：8,494.4km<sup>2</sup>(市街地176km<sup>2</sup>)

友好都市締結日：1979(昭和54)年9月7日

位置：中国の華南 東経113度41分-115度05分  
北緯29度58分-31度22分

気候：亜熱帯の大陸性気候

2009年武漢市GDP：4,620.86億人民幣

### 武漢市の概要

武漢市は、中国の華中、長江(揚子江)中流域の漢水と交わるところに位置し、武昌・漢陽・漢口の3つの地域からなり、人口は約1,022万人、面積は約8,494.41km<sup>2</sup>(市街地176km<sup>2</sup>)を有する中国中部最大の都市です。

気候は、亜熱帯の大陸性気候で、四季がはっきりしており、特に夏は、最高気温が40度を超えることがあり、重慶・南京と並んで中国の三大ストーブと呼ばれ、その暑さは有名です。歴史的には、大詩人屈原を輩出した春秋戦国時代の楚の国として、また三国志の舞台としても悠久の歴史をもち多くの名勝旧跡に恵まれています。

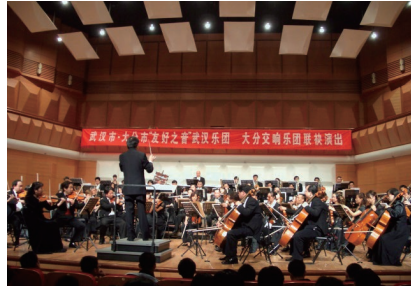
現在では、湖北省の省都として省の政治・経済・文化の中心としてだけでなく、北京・上海・広州・重慶からほぼ1,000kmから1,200kmの距離にあることから、中国における経済・貿易・金融・交通・科学技術の主要な拠点として重要な役割を果たしています。基幹産業としては、光エレクトロニクス分野の開発・製造企業が世界規模で集積しており、この他にも自動車を中心とする機械製造業、製鐵を中心とする素材型製造業、製薬開発をはじめとする生物バイオ産業等が盛んです。化学技術イノベーション(特許)件数は国内都市ランキング第3位です。また、これらの先端産業を支える主な人材としては、市内78校の大学等高等教育機関に88万人を越す学生がいます。武漢市は中国でも有数の人材養成拠点ともなっています。

大分市と武漢市は農業実習生の受入れや、中学生相互派遣、大分交響楽団武漢公演、武漢雑技団大分公演、ビジネス交流などさまざまな分野で交流を行っています。





武漢市学校交流事業



大分市交響楽団武漢公演



武漢市農業実習生の大分市研修



大分市・武漢市による女流書道交流

## 交流促進都市 中華人民共和国 広州市



### 中華人民共和国 広東省 広州市

人口：約1,270万人（2010年 第6次人口調査）

面積：7,434.4km<sup>2</sup>（市街地3,719km<sup>2</sup>）

交流促進都市覚書交換：1997（平成9）年10月9日

位置：中国華南地区

気候：亜熱帯モンスーン気候

年平均気温：21.7℃

年間降水量：1,982.7mm

平均湿度：77%

アジア太平洋都市サミットが縁で、アジア太平洋地域のネットワークの構築並びにオープンな国際交流の展開のため、交流促進都市締結の覚書の交換を行いました。



## 姉妹都市 アメリカ合衆国 オースチン市



アメリカ合衆国 テキサス州 オースチン市

人口：約80万人(2011年国勢調査)

面積：771.6km<sup>2</sup>

姉妹都市提携日：1990(平成2)年10月30日

平均気温：冬7～14度、夏26～38度前後

主な産業：IT産業、音楽産業等

### オースチン市の概要

オースチン市は、アメリカ合衆国の南西部に位置し、テキサス州のほぼ中央にあり、面積は771.6km<sup>2</sup>、人口は約80万人で、国内では11番目の人口を誇ります。大変教育水準の高い都市で、8校ある大学の学生総人口は10万人を超え、特に全米屈指の規模を誇るテキサス大学の本校には、世界各国から集まった5万人近い学生や研究者が学んでいます。そのために市民の平均年齢は30代前半と若く、またその人種の比率はコーカシャン53%、ラテン・アメリカ系31%、アフリカン・アメリカン系10%、アジア系5%、日本人0.18%となっています。気候は1年のうち約300日が晴天で平均気温は、冬7～14℃・夏26～38℃前後。特に夏は5月から9月まで続き、湿度も高めです。緩やかに丘陵地に囲まれた市の中心部にはロッキー山脈を水源とするコロラド川が悠然と流れており、自然や緑にも恵まれています。経済の中心であるIT産業は、全米からも注目されており、多数存在するマイクロチップ、ハード・ソフトの両面の関連会社での雇用者数は12万人にもなります。また、テキサスの州都ということもあり、公共機関で働く人口も145,000人と多く、総労働人口の20%を占めています。その他、全米有数のレストラン密集地のため、飲食関係産業の年間売上が2,400億円、また、ライブハウスが200以上軒を連ねるほど音楽産業も盛んで、関連産業も含めた総売り上げは年間720億円に達しています。

2016(平成28)年2月にはオースチンマラソンに大分市の選手が参加し、レースやホームステイを通じた交流が行われました。



オースチンマラソンへの参加



姉妹都市提携25周年記念  
鐵心太鼓のオースチン公演